

いのちの授業【2年道徳】学習指導案

指導者 S・N

1、本時の指導

(1) 主題名 生命の尊重 3 - (2)

(2) ねらい 一人一人の生命がかけがえのないものであることを自覚し、自他の生命を尊重する心情を養う。

(3) 指導過程

段階	生徒の活動	主な発問 と指示	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	気づく	1、各自の名前の由来について発表し合う。	グループになり、自分の名前がどのように付けられたか、名づけ由来について、一人ずつ発表しましょう。	・事前に予告し、お家の方から聞いてくるようにする。導入の扱いなので深入りせず、自分の誕生時の親の思いに触れる程度にする。
展開 30分	とらえる 見つめる	2、ビデオを視聴し、両親の心情について考える。 両親に与えられたのは、どんな「おくりもの」だったのでしょうか。	ビデオを見た感想を発表してください。 この最後の秋雪くんを抱いている父親はどんな気持ちなのでしょう。 両親に与えられたのは、どんな「おくりもの」だったのでしょうか。	・「両親」の心情に深く迫ることで、そこから生命の尊重について考えさせたい。 ・補助資料として著書「たったひとつのたからもの」のプロローグより抜粋する。また、秋雪くんのこと、加藤夫妻の思いを、写真を提示しながら説明する。 ・具体的な言葉にするのは難しいと思われるが、書く活動を取り入れ考える時間を確保したい。 < 補助発問 > 重い病気を持って生まれた秋雪くんが両親に与えたものは、苦労だけだったのかな。 我が子を亡くしながらも、CMを見たときの両親はどんな気持ちになったのかな。
終末 15分	高める	3、お家の方からのメッセージを読み、返事の手紙を書き、返事の手紙を書く。	お家の方からのメッセージを読み、返事の手紙を書きましょう。	・生命に大切さ、自分の存在のかけがえのなさを保護者の手紙から感じ取らせたい。 ・日頃の行動を考えさせながら、自分自身に向き合わせたい。表面的なことだけでなく、こんなことがあった、ということを具体的に表現させる。 ・「言葉にできない」の曲をBGMで流し、雰囲気をも高める。

